

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502181		
法人名	株式会社 グローバルケアマネジメント		
事業所名	ポテタウン南の沢		
所在地	札幌市南区南沢1822-63		
自己評価作成日	平成29年9月20日	評価結果市町村受理日	平成29年12月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502181-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年9月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ポテタウン南の沢は自然豊かな閑静な住宅地に位置しております。近隣には大学があり、ラベンダー祭り、コンサート等行われております。地域では南沢神社祭、健康祭り等、利用者様、職員も参加し福祉会館前で出ている出店でくじ引き、おでんを食べたりと楽しんでおります。これらの様子を[ポテ新聞]を作成しご家族にお知らせしております。日々変化がある利用者様には、天気の良い日は散歩、外気浴を行い時には、パズル、脳トレーニング、手足の体操等行っており、安心して暮らせる日常生活を心がけております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ポテタウン南の沢」はバス停から数分の住宅地にあり、南沢福祉会館に隣接している。2階建て1ユニットのグループホームで、寮を家庭的な造りに改装した事業所は地域に溶け込んで建っている。近くを流れる川に沿って遊歩道があり、犬の散歩を窓から眺めたり、自然豊かな四季を感じながら日々散歩を楽しんでいる。近隣には南沢福祉会館のほか、喫茶店や店があり恵まれた立地条件を活かしながら、利用者が楽しめるように外出に取り入れている。会館前でのお祭りにはゲームや屋台で買い物を楽しんだり、大学生のコンサートがある時は出かけて住民と共に鑑賞している。新しく就任した管理者は、介護計画作成担当のケアマネジャーと共に周囲の社会資源を最大限に活用して利用者が住民と交流できる環境づくりを更に進めたいと意欲的に取り組んでいる。前回の課題や意向なども引き続き検討している。家族の来訪時に意向を聞きながらケアについて話し合い、計画の見直しにはケアマネジャーを中心に全員で評価し、個人ごとの意向に沿って介護計画を作成している。また外部研修会で受講した内容を勉強会で共有し、質の向上にも取り組んでいる。外出行事での外食、屋外でのバーベキューや誕生日には好みのもの、年末年始には職員の手づくりの御馳走など、食事風景を工夫して楽しめるように提供している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられる (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	月例会で理念を唱和し、入居者様は穏やかな暮らしができる様確認し地域と連携を密にし良好な関係を保っています。	法人事業所共通の理念に地域密着型サービスの文言を入れて要所に掲示している。月例会で唱和をするとともに日々のケアで理念が実践できているかを振り返り、共有を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会、民生委員の方々は、行事事を多く活動されており連携を密にして積極的に参加し、交流を深めています。	隣の南沢福祉会館前で行うお祭りの催しや、大学生のコンサートなどを鑑賞して楽しんでいる。近くの喫茶店に出かけたり、散歩中には子供や住民と会話を交わしている。事業所の庭でバーベキューを行い、民生委員や家族が参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域推進会議にお越し頂いている民生委員の方に声掛けをお願いし、地域の方々に認知症の理解を深めるお話の場を設けております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括様より地域の方々に認知症についての理解や接し方などのお話の場を設けるなど行っております。	運営推進会議は利用者、家族、町内関係者(民生委員、ボランティア)、行政の参加を得て2か月毎に開催している。避難訓練、外部評価、認知症についてなどのテーマで意見を交換している。前回に引き続き町内会役員の出席を依頼し、全家族にテーマを記載して会議案内の送付を考えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者に連絡し、入居者様の病状を伝え病院を紹介して頂いたケースがあります。(現在入居者様は落ち着いております)	書類提出で分からない時は市役所に出かけて確認したり、情報を得ている。事例の相談で行政の担当者からアドバイスやDVDをいただく事もある。グループホーム管理者会議の研修内容を勉強会で伝達しケアに役立てている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠はしません。歩行が不自由な方も長時間の車椅子は使用しない様心がけています。	身体拘束に関する資料を収集し、具体的な禁止行為の11項目も含まれている。外部研修や勉強会で虐待、身体拘束の弊害を学び、事例に沿ってその都度対応を話し合っている。落ち着かない利用者の状態を見守り、意向を聞いて対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の講習会などに出た職員に職場勉強会をし、適切なケアを行う様心がけています。		

ポテトタウン 南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護も講習会等出席した職員を中心に学習していますが、具体的な実行例はありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明は納得されるまで十分に行っています。契約内容の変更、改正があればご家族に連絡し、了解を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様、ご家族様の要望、疑問などについては、よく話を聞き改善の方向に向け取り組んでいます。	「ポテト新聞」を毎月発行し、2か月毎に個別欄も設けて暮らしを伝えている。遠方の家族には電話で報告や意見を聞き、来訪時には介護計画の意向も確認している。前回に引き続き、個別の記録の方法で些細な想いを把握したいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に職員の要望、疑問などを聞き職員全体で話し合う機会を設け、改善する様努めております。	月例会への参加が難しい職員の意見を事前に聞き、勉強会、ケアや介護計画の見直し、業務などで意見を交換している。管理者は意見が言いやすい環境をつくり、状況に沿って個別面談も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境の改善に関して、自由に意見、提言が行える環境になっており、条件の設備の努力がなされています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修会には時間が許す限り職員参加してもらい、参加した職員には事業所内で勉強会として行い職員一同質の向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括様、管理者会議での交流の場で情報を聞き入れ質の向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時間が許す限りゆっくりと聞き入れそれにより信頼関係を築いていくように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いを良くお聞きし、出来る事、又、出来る様に努めて行くことを説明し納得頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の体調、精神状態、好み、要望などを理解し、皆でその情報を共有し、対応する様に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、出来ない事を把握し、掃除、食器拭き、料理補助etc…ご本人ができそうな事を手伝って頂いております		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通院その他、外泊、外出、外食などのサポートをお願いしたり、週1回目安に電話をしていただけるようお願いしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親しい人との電話や、手紙のやりとり、会いに来てもらう等、交流が途切れないように気をかけフォローしています。	学生時代の友人の来訪時には交流を温めながら、一緒に散歩する事もある。開設14年が経過し近所の人や周囲が馴染みになっている。川に沿っての遊歩道や橋を渡って散歩をしたり、近隣の喫茶店に出かけたりして住民と交流している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの居室を行き来し、テレビを見たり、お話しをしたり居室で過ごす時間を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族に電話などで近況の報告をして頂いたり利用者様の暮らされている場に出向きます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の希望されている必要な物は、その都度職員が購入に走っています。	会話の中で意向を聞き、難しい場合は問いかけて反応から思いを把握している。アセスメントを1年で更新しているが、その間の趣味嗜好などの変化について情報の追記は見られない。	センター方式のBシートを活用し、前回に引き続き変化などを追記し、利用者との会話に活かされるよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	それぞれの好みに合わせて環境を整えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日その日の過ごし方や心身の状態を記入し、申し送りして伝達し現状の把握をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	短期、長期の目標は担当者に記入してもらい「変化の要点の記録」と照らし合わせて介護計画の作成をしています。	介護計画を3か月毎に見直す際に全職員で評価を行い、家族の意向と本人の普段の思いを入れて介護計画を作成している。日々の記録では計画の目標に沿って実施を確認し、変化なども記載して次回の見直しにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践結果等は月例会で報告検討され、情報の共有が図られています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各自病状の変化によりドアホン等設置して夜勤帯等に確認を怠らないようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出の際には町内の方々が声を掛けて頂き、行事の際はこちらから声を掛け交流を深めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の要望や薬に関する疑問などを主治医に伝え、理解して頂いております。	協力医療機関の訪問による月2回の内科と月1回の歯科を受けている。専門的な他科受診は職員が同行し、結果を家族に報告している。受診内容をパソコン記録で報告しており、個人毎に分かりやすく綴る方向で考えている。	

ポテトタウン 南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康状態、入居者様の毎の日変化を相談し対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	24時間体制の医療機関の為、入退院に関してはスムーズに対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	担当医、ご家族様との話し合いに加え職員もできるだけ最後まで見守りたいと考えております。	重度化・看取り加算を取得していないが、事業所の対応を重要事項の書類で説明し同意を得ている。状態の変化時には関係者で方針を確認し、可能な範囲内で対応している。関係者で話し合った内容を受診記録にも記載したいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や、事故発生時には緊急マニュアルが用意されており、職場近隣に住む職員が駆けつける等の体制になっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練、避難訓練なども定期的に消防署の協力を得て行い、地域での訓練も参加しております。	昼夜を想定し消防署指導の下で、民生委員の参加を得て火災避難訓練を実施している。今回消防署とも相談し、地震、水害の防災マニュアルを作成している。	近隣の南沢福祉会館や喫茶店の協力者も得て避難訓練を行うとともに、地域住民の役割について確認されるよう期待したい。また防災マニュアルに沿って職員間で対応を話し合うことも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄、入浴、他見守り時などにも個々に沿った配慮をしております。	夫婦で入居されている方もいて、呼びかけは全員名前で呼んでいる。職員は食事の介助やトイレ誘導など優しく声かけをして人格を尊重している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	好みの服装、外食の時等本人の希望に沿って注文しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の希望を聞き、極力沿うように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の要望に合わせて理美容のカットを行ったり洋服を選ぶなど、その人らしい生活ができる様支援しています。		

ポテトタウン 南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事や外食の選択、旬の食材、目でも楽しめる食事を利用者の能力や好みを反映できる様心がけています。	外食や出前も利用し変化のある食事を提供している。誕生日は本人の食べたいものや家族からの情報で希望を叶えている。事業所の庭でバーベキューする場合は住民の参加も得られ楽しいイベントになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のバランスはよく栄養が取れるような献立を作り、量や塩分はそれぞれに合わせて調整し、水分摂取量は1日確認出来るように目でわかる様表にしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・昼・夕食後は誘導、声掛けで必ず口腔ケア実施、夕食後には義歯を義歯ケースに入れ、入れ歯洗浄剤につけ、清潔を保っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄は自立が多いが、その方に合わせた排泄の見守り誘導を行っております。	全員の排泄状況は介護日誌に記録されている。排泄のコントロールに牛乳、ヨーグルト、乳酸菌を提供しスムーズな排便を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の夜勤者から最終排便の日数により、水分摂取で牛乳、ヨーグルト等で排便コントロールし、時には主治医より処方されている薬でコントロールしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	介助の為曜日を決めて、要望があれば午前中、午後等時間を選んで頂いてます。要望、状態をみてシャワー・足浴・清拭を行っております。	日曜以外に1日3名が可能な限り湯船に浸かって一人30分程度ゆったりと入浴している。利用者ごと週2回の入浴時には好みの入浴剤を使い職員と会話して個人に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝の目覚め、状態に応じ朝食後傾眠が強い方等は居室にて休んで頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診後の調剤薬局との連携で副作用、食材禁等全職員が把握確認し、誤飲、飲み忘れない様、徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的に、やっておられた、掃除、食器拭き、食材のお手伝いなど無理のない様職員と行き、又、ぬりえ、新聞閲覧など個々の楽しみを引き出しています。		

ポテトタウン 南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の散歩や町内会の行事(行事報告書参照)等外出は多くしております。ご家族やそれぞれの外出の要望にお応えしております。	日々の散歩では遊歩道で季節を感じたり近隣の喫茶店まで歩き、南沢福祉会館でのお祭りや神社にも出かけている。車での外出も、定山溪での花見や紅葉見物、支笏湖ヘドライブしたり、ファクトリーへよさこい演舞の見学に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時や会話などで、お小遣いの範囲内で希望の物を選び物の価値感やお金の大切さを実感してもらえるよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人より希望があれば、電話をお掛けするお手伝いをし手紙が来た際にはご本人にお渡ししております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	極力凸凹した空間は撤去しスムーズな導線にしました。行事等の写真も月々貼らせて頂き、四季を感じてもらえるよう、飾りつけも行ってあります。	寮を改装して暮らしやすいよう各所に工夫がされている。日当たりのよいリビングの窓からは、遊歩道で散歩する犬を見ることを楽しみにしている利用者もいる。共有部分の食堂は広く各部屋が見やすい。階段も左右に手すりがあり、日々の身体的な機能維持に階段昇降が役立っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2Fになかった共有スペースを作りました。2Fになかったスペース作りにより、入居者様が、どちらにいかれてもアクティビティを楽しんでいただけます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員が介入し、お預かりしているアルバムや、生活環境などお話を伺うようにしています。	自宅より馴染みの品と使い慣れた家具を持ち込み安心して暮らせる部屋になっている。テレビや鏡台、アルバム、ぬいぐるみ、思い出の品を配置し自分らしく過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール・トイレ・階段等、導線となる所には手すりを設置し転倒防止を図り、自立した生活を続けられるように援助しております。		

目標達成計画

事業所名 ポテトタウン南の沢

作成日：平成 29年 10月 20日

市町村受理日：平成 29年 12月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	アセスメントを1年で更新しているが、その間の趣味趣向などの変化について情報の追記は見られず。	センター方式のBシートを活用し、前回に引き続き変化などを追記し利用者との会話に活かされるようにする。	Bシートの活用案。その中でスタッフと話し合い追記事項等あれば作成する。	1ヶ月
2	35	昼夜を想定し消防署指導の下で、民生委員の参加を得て火災避難訓練を実施している。消防署との相談で地震・水害の防災マニュアルを作成済。	近隣南沢福祉会館や喫茶店の協力者も得て避難訓練を行うと共に地域住民の役割について確認する。防災マニュアルに沿って職員で話し合う。	福祉会館・喫茶店の他に川を挟んだ所にある、南成園(障害者施設)の協力体制も視野におく。目の前に川が流れているためそれを活かし防災について話し合い、訓練を実施したい。	1~2ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。